その夢の、一歩先へ
Open the Future with You
Orico

2026年11月27日
株式会社オリエントコーポレーション

オリコ、中小企業・個人事業主向け資金管理・資金繰りプラットフォーム「mitosel（ミトセル）」の機能を拡充
～請求書発行から将来の資金繰り予測、売掛債権の早期資金化までを一体的に支援～

株式会社オリエントコーポレーション（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：梅宮　真、以下「オリコ」）と、マネーフォワードエックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：本川大輔、以下「マネーフォワードエックス」）は、2026 年 11 月26日より、中小企業・個人事業主向け資金管理・資金繰りプラットフォーム「mitosel（ミトセル）（※）」（以下「mitosel」）の機能を拡充しました。また、同日にオリコ加盟店を対象に、保有する売掛債権を入金期日前に資金化できる「請求書ファクタリング」の取り扱いも開始しました。

※mitosel」は株式会社オリエントコーポレーションの登録商標です。

「mitosel」は、2026 年 6 月に提供を開始した、企業経営におけるキャッシュフローの実績と将来の資金の動きを可視化し、資金管理から資金調達・決済までを支援するサービスです。

URL：https://www.orico.co.jp/business/mitosel/

今回の機能拡充により、資金状況の把握に加え、将来の資金繰りシミュレーション、入出金予定の登録、請求書の作成・送信が可能になります。さらに、保有する売掛債権を入金期日前に資金化する「請求書ファクタリング」についても、「mitosel」上から申し込めるようになり、資金管理から請求書発行、資金調達までを一体的に行えるようになります。



Orico × Money Forward X

■機能拡充の背景

中小企業・個人事業主にとって、日々の資金状況を把握し、将来の入出金を見通しながら計画的に資金繰りを行うことは、安定した事業経営において重要です。また、売り上げの計上から入金までに期間がある場合、入金と支払いのタイミングのずれにより、一時的な資金確保が必要となることがあります。

今回、こうした課題に対応し、日々の資金管理から将来を見据えた資金繰り、必要に応じた資金調達までを幅広く支援するため、「mitosel」の機能を拡充します。

■機能拡充

今回の機能拡充により、「mitosel」では、以下の機能・サービスを利用できるようになります。

今回追加された機能

01	資金繰りシミュレーション	現在の資金状況に加え、将来の入出金予定を踏まえた資金繰りをシステムで算出し、資金調達を検討する際の推奨申込金額を確認できます。
02	メッセージ・レコメンド	資金状況に応じたメッセージや、資金繰りに関する情報を提示(レコメンド)し、お客さまの資金管理をサポートします。
03	入出金予定の登録	今後予定されている入金・支払いを登録し、将来の資金の動きを管理できます。これにより将来の資金繰りをより精緻に把握することができます。
04	請求書の作成・メール送信	「mitosel」上で請求書を作成し、取引先へメールで送信できます。また作成した請求書の金額を入金予定として、キャッシュフローに反映できます。
05	請求書ファクタリング	「mitosel」上で、保有する売掛債権を早期に資金化する「請求書ファクタリング」の申し込みができます。「mitosel」で作成した請求書を申し込みに活用することもできます。

■請求書ファクタリングについて

「mitosel」に連携された銀行口座の入出金情報や請求書情報などを活用し、請求書ファクタリングの利用可否を事前に判定し、利用可能な場合に申込画面をご案内します。

審査、契約締結、入金までの手続きをオンラインで完結できます。なお、サービス開始時点では、オリコ加盟店を対象に提供します。

＜商品概要＞

商品名	請求書ファクタリング(OBS+)
種類	2 社間ファクタリング
ご利用対象者	「mitosel」に登録し、銀行口座を連携しているオリコ加盟店のうち、請求書ファクタリングの申込画面をご案内されたお客さま ※請求書の振込口座が連携銀行口座であることが必要です 対象となるお客さまには、申込画面をご案内します。
売掛先	法人
買取上限金額	300 万円
手数料	1.0%～10.0%
対象となる請求書	入金期日が申込日の 6 営業日後以降、翌月末までの請求書
入金日	本審査完了後に通知される条件に合意してから 2 営業日後

必要書類	買い取り希望の売掛債権に関する請求書 当該取引のエビデンス（発注書、受発注メールなど）
支払期日	請求書入金期日の翌営業日

■請求書ファクタリングの審査の仕組み

オリコとマネーフォワードエックスは、請求書ファクタリングの審査に活用する「審査モデル」を共同で構築しました。本モデルは、オンラインレンディング用の「AI 与信審査モデル（※）」の運用ノウハウを応用・発展させたものです。「mitosel」に銀行口座を連携し、請求書ファクタリングを申し込んだ利用者の入出金情報や請求書情報などを活用して審査を行います。

また、シンプルフォーム株式会社が提供する「SimpleCheck」を活用し、企業の実体性やリスク情報などを確認することで、審査業務の効率化とリスク管理の高度化を図ります。

これらの情報や仕組みを組み合わせることで、請求書の内容に加え、「mitosel」利用者の資金状況や取引実態、企業の実体性を多面的に捉えた審査を行います。

※ ニュースリリース：https://ssl4.eir-parts.net/doc/8585/announcement3/102441/00.pdf

■ビジネスモデル特許について

オリコは、mitosel に関連するビジネスモデル特許を3件（特許第 7874143 号、特許第 7901129 号、特許第 7917580 号）取得しました。

本特許は、mitosel を起点に、会計情報や銀行口座情報、支払・請求実績等を活用することで、企業の資金状況や事業活動を踏まえたファクタリングやビジネスローン等の金融サービスを効率的に提供する仕組みに関するものです。

■今後の展望

オリコとマネーフォワードエックスは、中小企業・個人事業主の資金管理や資金繰りを支援するため、「mitosel」の機能・利便性の向上を図ってまいります。直近では、2027 年 5 月を目処に、口座情報や資金繰り分析をもとに、融資やファクタリングなどの資金調達手段を提示する「レコメンド機能」のアップデートを予定しています。

また、請求書ファクタリングについては、利用状況などを踏まえ、一般の中小企業・個人事業主へ対象を拡大する予定です。あわせて、「mitosel」の UI/UX の継続的な改善やサービス利用時の利便性向上を図るとともに、お客さまとの新たな接点の創出にも取り組んでまいります。

オリコは中期経営計画において、「個人や中小企業にとって安全・安心・便利なキャッシュレス社会の実現への貢献」を重要なマテリアリティの一つに掲げています。今後も、金融とテクノロジーを融合し、より多くの中小企業・個人事業主にとって使いやすく身近な資金管理・資金繰りサービスをめざし、経営課題の解決と持続的な成長に貢献してまいります。